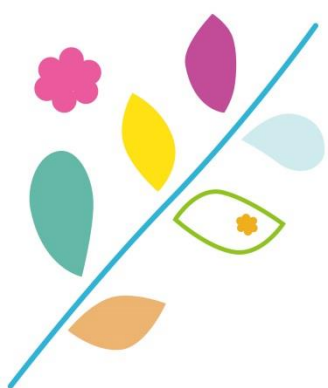


福祉委員制度について

福祉課題の早期発見と
地域住民同士の支え合い活動の推進

亀山市社会福祉協議会

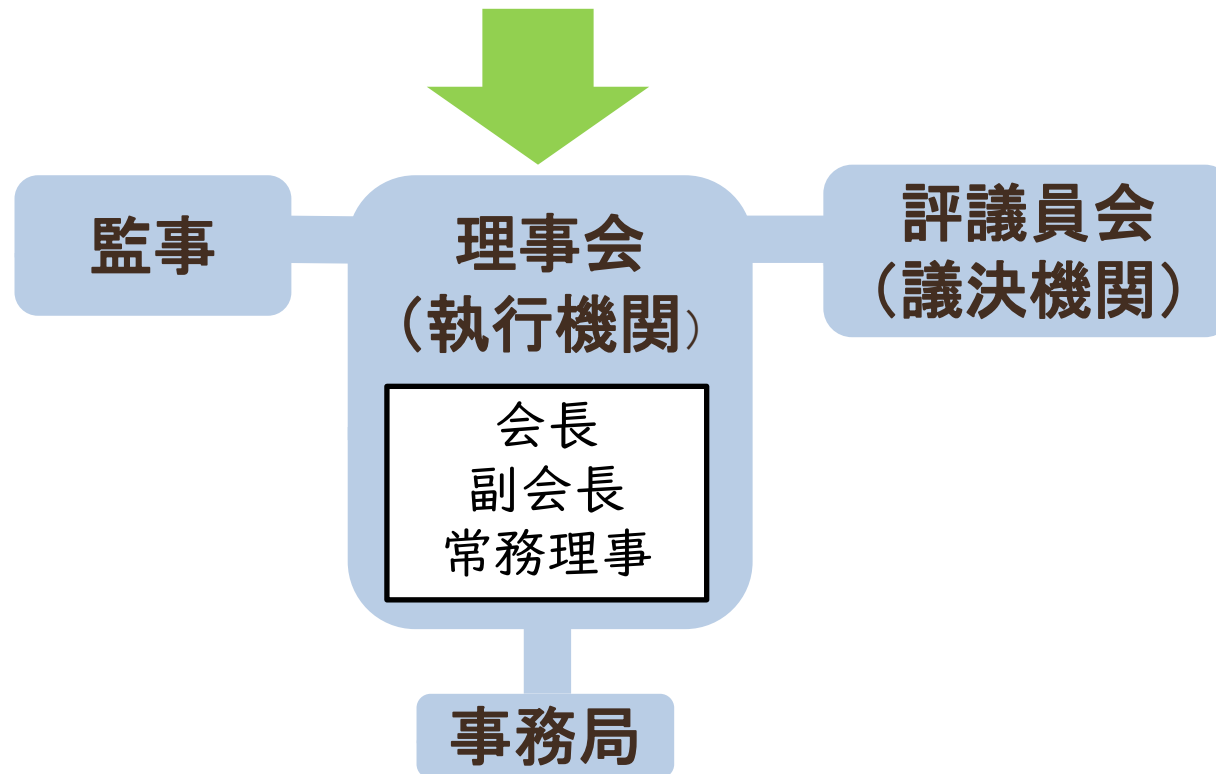
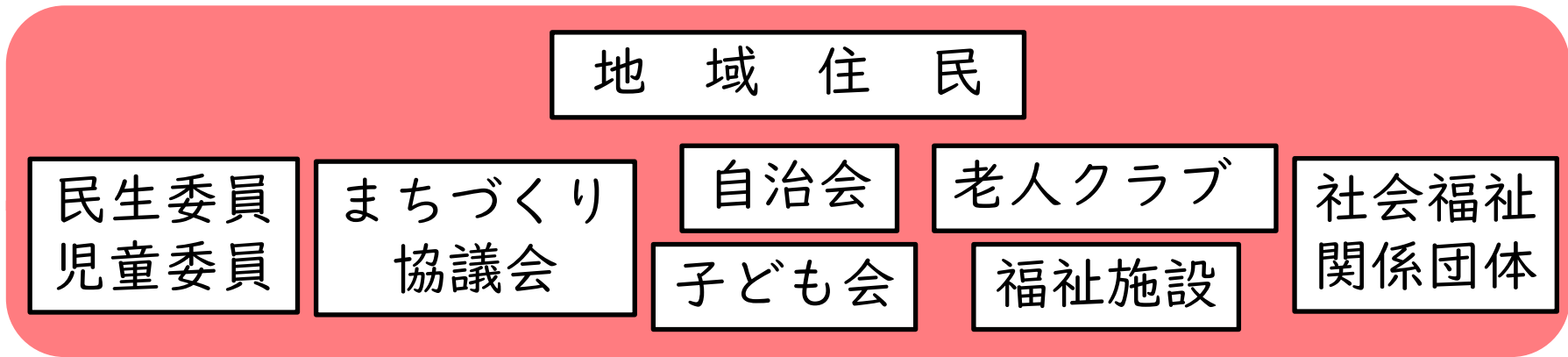


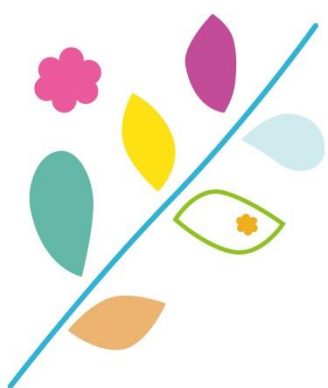
社会福祉協議会とは？

- 社会福祉法第109条より
 - 1.社会福祉を目的とする事業の企画および実施
 - 2.社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
 - 3.社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、
宣伝、連絡、調整及び助成



社協の組織





会員制度

- みなさんに参画してもらおう。
住民一人ひとりが「地域福祉」を自らの活動として受け止めていただき地域福祉活動に参加してもらおう
- 継続した地域福祉活動の財源確保
会費は主にまちづくり協議会（福祉委員会）で行っていただいている地域福祉活動への助成事業



「い」だんの「く」らしの「し」あわせの実現

地域づくり
ひとづくり
つながりづくり

- ・CSW(H30)、生活支援コーディネーター(R1)の配置
- ・ボランティア活動の推進
- ・サロン活動の支援
- ・福祉教育の推進 など

福祉に関する
総合相談・情報提供

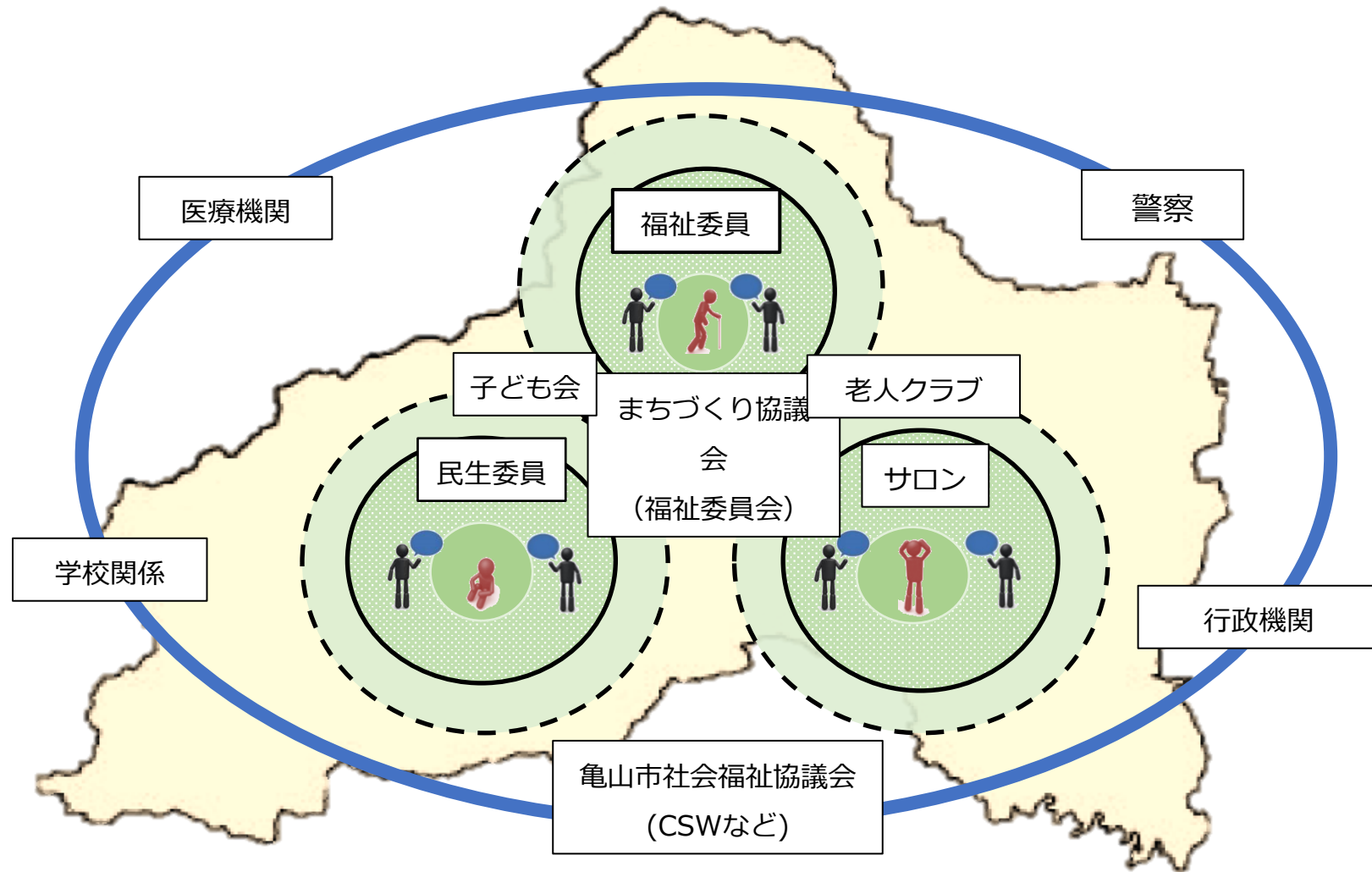
- ・基幹型地域包括支援センター
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・公証人等による相談・心配ごと相談
- ・社協だよりの発行 など

福祉サービスの提供

- ・介護保険サービス（ヘルパー）
- ・障害者福祉サービス
- ・日常生活自立支援事業（金銭管理等）
- ・車椅子の貸出事業 など



地域で助け合う関係づくり





福祉委員の活動

◆福祉課題の発見



徘徊している認知症のお年寄り



身体が弱って閉じこもりがちなお年寄り

ゴミが出せずにたまり始めている



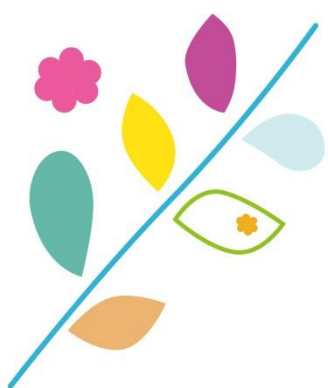
障がいがあり、日常生活が不安・・・



収入が不安定で生活が苦しい。



子育てについて誰にも相談できない



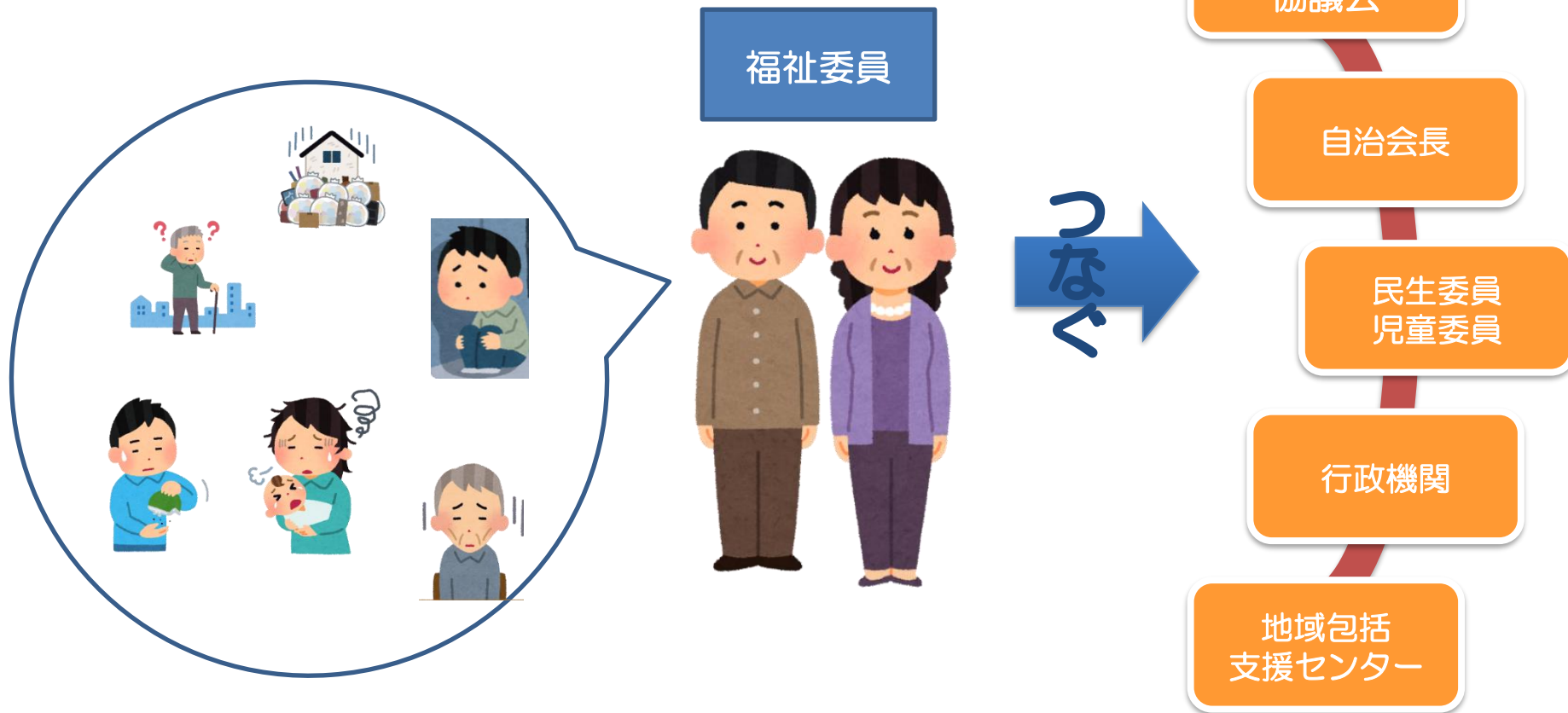
多様化・複合化する地域の課題

- 高齢の親と働いていない独身の50代の子とが同居している世帯（8050問題）
- 介護と育児に同時に直面している世帯（ダブルケア）
- 障がいのある子の親が高齢化し、介護を要する世帯
- さまざまな問題が複合化して生活が困窮している世帯（ごみ屋敷等）



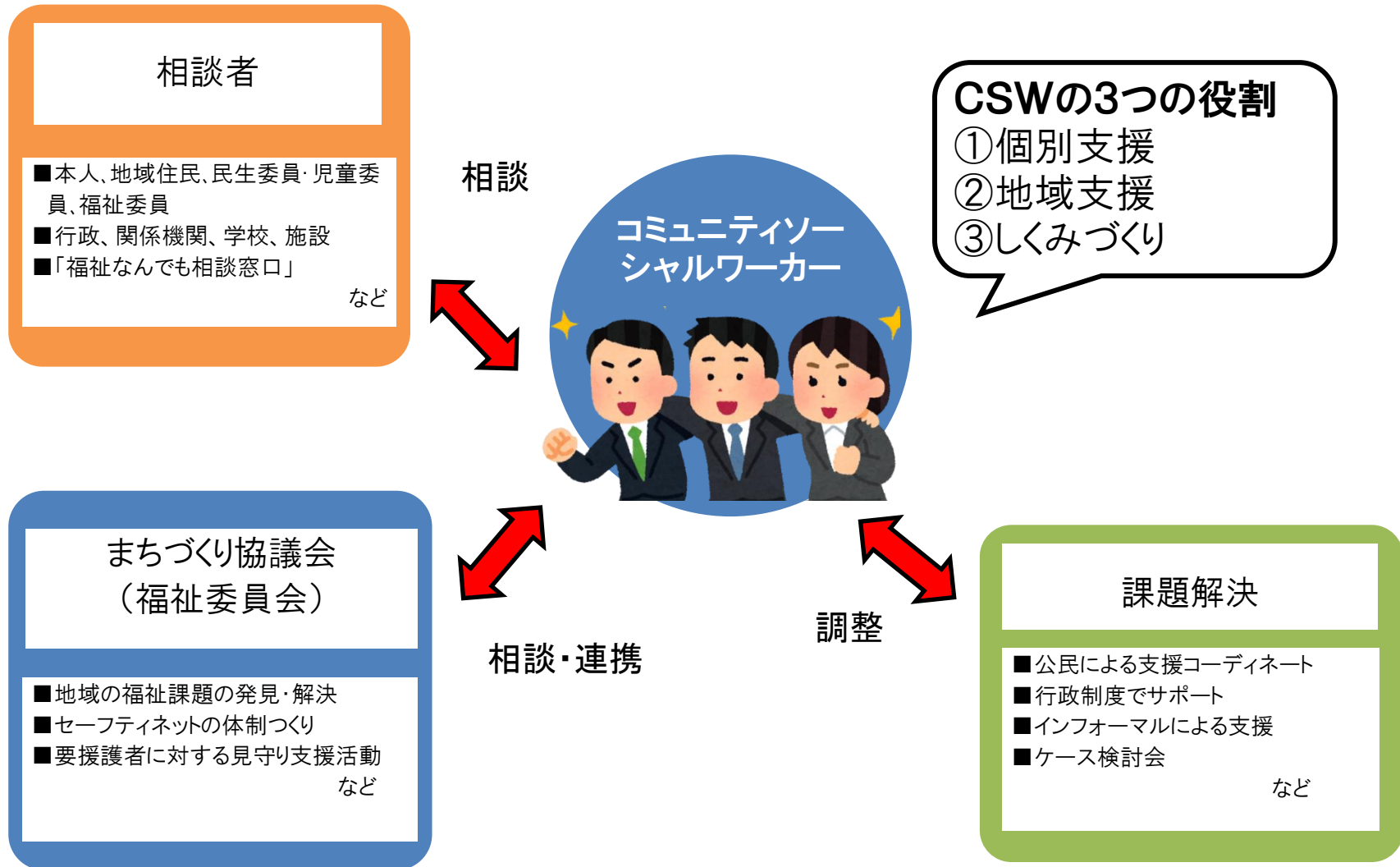
福祉委員の活動

◆福祉課題の発見





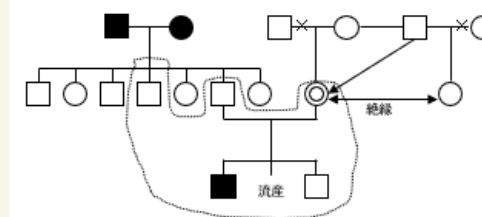
CSWの役割



個別支援事例



家族構成図



本人(30代女性)、夫
長男:療育手帳A2

きっかけ

子ども支援Gからの相談。夫は体調不良で、本人は子どもの世話がある為、夫婦共に無職。生活保護は拒否。子どもの手当で生活している。常に困窮状態で、本人の生活力や養育能力に不安が大きい。

子どもは3歳だが成長が未熟。

状況把握

15歳頃養父の虐待あり、その後児童精神科入院。WISC-R検査IQ55。本人自身は障がいの認識はない。計算が苦手で、金銭管理不十分。適切な対人関係が築けない。自分なりの考え方を展開し、柔軟な対応が出来ず、思い込んだら修正が難しい。順序だてたり、言葉での理解が苦手であり、目で見て確認できる機会が必要。

支援内容

収入面をどのように安定させるか相談。失業保険を受けてない事が分かり、対応。夫も可能性があったが、受けず。障がい年金について可能性がある事を話すが、本人は今のところ受ける気はない。夫婦ともに、安定して働ける場を見つける事と、子どもの発育に必要な環境を整える事を、子支援Gと連携協力しながら行っていく。



生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) とは？



高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう生活支援・介護予防のしくみづくりをすすめていきます。

地域の現状把握・見える化

ふれあい・いきいきサロン活動の推進

住民同士の支え合い活動（ちょこボラ）の推進

地域の現状把握

亀山市の高齢者の現状

	亀山市	白川 地区
総人口	49,574人	757 人
65才以上	13,309人	298 人
高齢化率	26.8%	39.4 %

てびき
P3

(令和2年10月1日現在)



「令和2年度地域福祉カルテ」をご活用ください♪

地域住民同士の支え合い活動

昼生フレンドサービス



井田川北ささえ愛たい



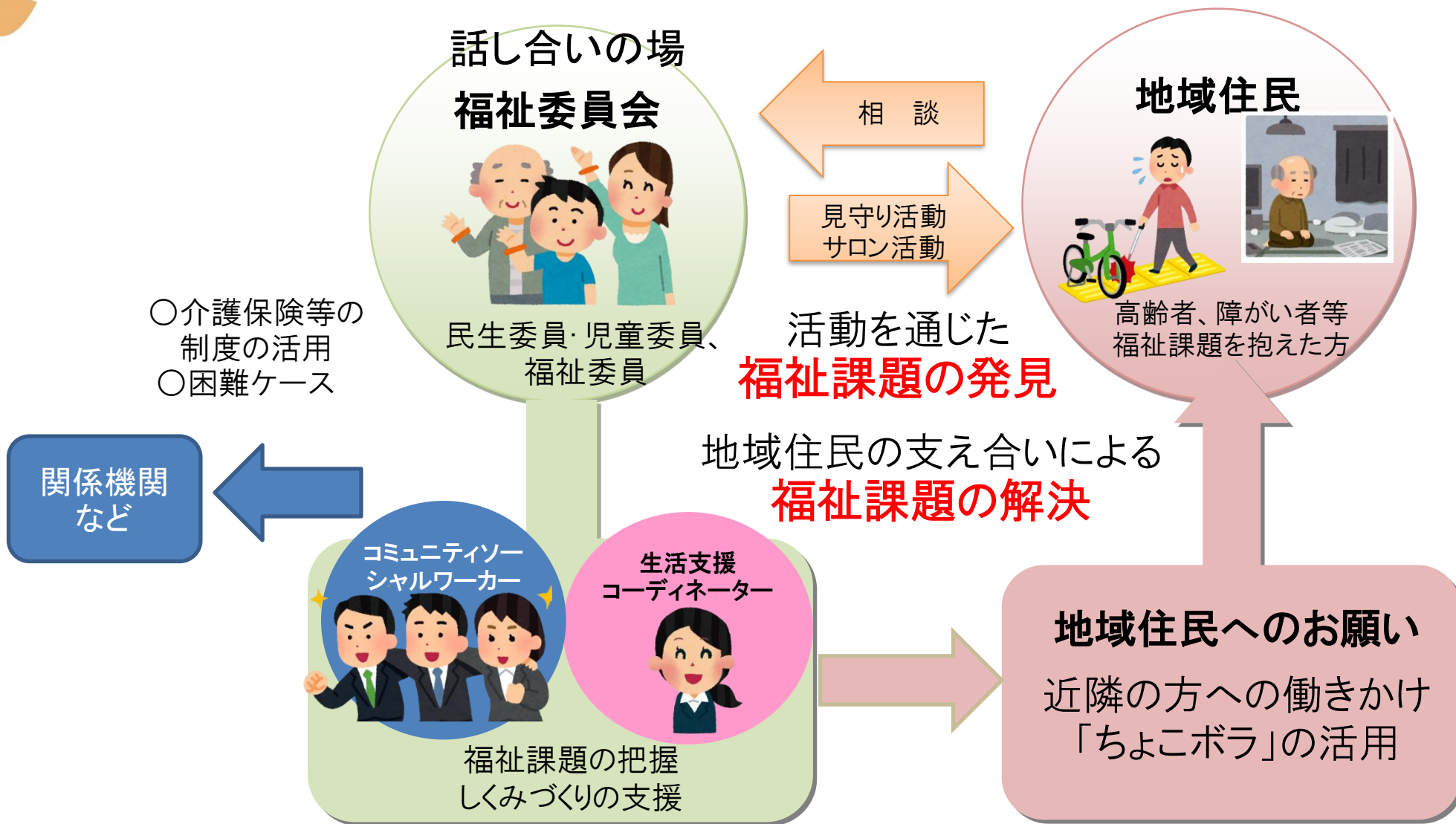


工夫された活動紹介



『「新しい生活様式」に対応した地域活動のてびき』
をご活用ください♪

個別支援から地域支援に向けて





ご清聴ありがとうございました

